



# 国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

2022年11月号

## 自己肯定感を育む

6年生が実施した全国学力学習状況調査の結果が8月に示されました。本校は実施日を変更していたため参考数値ですが、国語、算数、理科のどれも、全国平均よりも高い結果となりました。

また、質問紙調査では、全国平均より10ポイント以上高い項目は、「読書の時間」「読書が好き」「学校以外での学習時間」などがありました。一方、全国平均よりも10ポイント以上低い項目として、「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれている」などがあり、自己肯定感が低いと思われる結果となりました。

自己肯定感とは、長所だけでなく短所も含めて自分であることを認め、その上でより高い目標を目指して自己実現を果たそうとする気持ちの基です。自己肯定感を高めるためには、上手くできた結果だけをほめるのではなく、たとえ思ったような結果でなかったとしても、努力したことを認める、経過を認める、うまくいかなかった原因は何かを一緒に考える、失敗は失敗として客観的に認めることが大切

だと考えます。これまで上手にできるように手助けしてきたことを、少しずつお子様が一人で見守りましょう。失敗は、悪いことでも恐いことでもなく、やり直せばよいことを実感できるようにしてあげましょう。何事もほどほどに、中庸の心で。

また、スポーツや学業など一生懸命に取り組めば取り組むほど高い目標を掲げるようになり、今の自分に満足できず、自己評価が低くなることも考えられます。

今回の結果を教職員で共有し、児童の認め方についても振り返りながら日々の指導に活かしたいと思えます。引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

## 11月行事予定

1日 振替休業(10/30分)	19日 秋祭集会、方面別集団下校
2~4日 6年修学旅行	21日 授業研究会
3日 祝 文化の日	22日 職員会議
7日 6年振替休業(11/3分)	23日 祝 勤労感謝の日
8日 1年校外学習 職員会議	24日 芸術鑑賞
11日 仏教朝礼(放送)	25日 報恩講(放送) 入試準備のため3時間授業(1~4年)
12日 休業日	4時間目入試準備(5, 6年)
14日 朝会(放送) 4年校外学習	26日 児童: 自宅学習 職員: 私学研修会
15日 クラブ	27日 第2回入学試験
17日 授業参観・学級懇談 5年スキー学校説明会	28日 振替休業(11/27分)
18日 火曜時程	29日 職員会議
	30日 生命の授業(2年、5年)



### 雨の東京ディズニーランド

10月7日(金)小学部全体で TDL に校外学習に行ってきました。冬のような寒い雨が降り、風も吹き荒れ、お天気には恵まれませんでしたが、この日のために編成した縦割りグループで、上級生が下級生を気遣う姿やお気に入りのアトラクションを目指してグループで行動する姿が見られました。大変だったこと、楽しかったこと、一人一人それぞれに思い出深い経験になったと思います。



### 今月の目標

「新型コロナウイルスに感染しないように、健康に気をつけましょう」  
「進んで仕事をし、後始末をしっかりとやりましょう」

## 物の情一ならず 飛沈性異なり

高野山の金剛峯寺を開かれた弘法大師空海が24歳のときに撰述された『三教指帰』(さんごうしいき)の一節です。大師はこの草稿を18歳のときに書かれました。大意は次のようになります。

この世に生きとし生けるものの心情は一つではない。鳥たちのように空を飛びかうもの、魚たちのように水中にすむもの、人や獣のように陸地に住むもの、その性質はさまざまです。これと同じように相手の性質や心情を無視して教を説くことはさげなければなりません。

世の中は『一億総評論家時代』を経て、昨今は『一億自己主張時代』と言います。『自分の意思を持てる子』『自分の意思をはっきりいえる子』を教育の目標の一つに掲げているほどです。確かに自分の意見を持つこと、世の中をしっかりと見つけることは大切です。

しかし、そのことと自分の言いたいことだけをいう、自分の主張が通れば相手はどうでもよいというのは別ものです。

自分に一つの考えがあるならば、相手にも別の考えがあります。異なった考えをもつ者同士が仲良くしていくためには、お互いに相手の立場や考え方を理解する努力が必要です。

この弘法大師の言葉は、自分の考えをもつための学問、それを主張できる意志、そして忘れてはならないのは、相手の立場をも考えるということの大切さを示して下さっています。



### ステキ 見つけた!

10月の朝会で、生活指導の小林教諭から、廊下ですれ違ったときに自然に会釈ができた児童の話がありました。その後、廊下ですれ違う際、挨拶をしたり会釈をしたりする児童が増えました。素敵な所作にいい気持ち広がります。普段の何気ない心がけを大切にしたいと思います。

